



11月
ぼくとかあさん
いもと ようこ／作・絵
金の星社
2010年 ¥1400

母とふたりで暮らしていた“ぼく”。優しい母に愛情いっぱい育てられ、卒業後は町で働くことに。町での生活が楽しくて田舎に帰らなくなりますが、久しぶりに帰宅すると…。子どもを思う母の愛と、大人になってその愛の深さに気付く子ども。親子の繋がりを描いた絵本です。“ぼく”はきっと、これからたくさん親孝行をすることでしょう。



12月
ちいさな木
角野 栄子／作
佐竹 美保／絵
偕成社
2023年 ¥1300

町はずれでぽつんと生きてきたちいさな木は、自分の好きな場所を探すと出会い、「動けない」という思い込みを捨てて自ら歩きはじめます。途中で岩と沼とも出会い共に旅をします。それぞれの好きな場所は見つかったのでしょうか。自分の気持ちに正直に一步を踏み出す勇気と、出会いを大切にしたいと感じる1冊です。

うちどく おすすめ絵本リスト

2024.3～2025.2

小学校
高学年版

この一年で図書館司書が毎月紹介した絵本をリストにまとめました。



「うちどく(家読)」とは、家族で同じ本を読み、その本について話し合うことです。
「うちどく」で家族のきずなを深めましょう！



1月
かべのすきま
中西 翠／文
澤野 秋文／絵
アリス館
2019年 ¥1400

夜、男の子がひとりぼっちでお留守番。壁から出ている糸みたいなものをひっぱったら、そこから出てきたのは…なんと関西弁をしゃべるおばちゃんたち！あれよあれよという間に、ホームパーティーのはじまりはじまり。最初は戸惑っていた男の子も、なんだか楽しくなってきた。怖い絵本かと思いきや、心あたまるお話です。



2月
ステーキ
はらぺこめがね／作
小学館
2023年 ¥1450

「ステーキ」ってどんな木？文字どおりステーキの木！2月は「ふとまき」、3月は「ひなまつり」、4月は…。12の月それぞれに「おいしい木」が登場するユニークな絵本です。においまで届いてきそうなリアルなイラストに、おなががすいてしまいうそう。自分ならどんな「おいしい木」があったら嬉しいか、想像してみるのもいいですね。

●うちどくをはじめるなら、まずは絵本がおすすめ！●

絵本は短い時間で読める上に、文章や絵、読む年齢によっても様々な感想を持てるので、幅広い年代が一緒に読む「うちどくの本」として最適です。



現在購入できる版の出版年を掲載しています。
価格は2025年2月現在の本体価格です。

掲載については出版社の許諾を得ています。
無断で転載することを禁じます。

2025年3月発行
大洲市立図書館



3月



アルバ
うつくしいみをまもった
100さいのさかな
ララ・ホーソーン/作・絵
新沢 としひこ/訳
石垣 幸二/監修
教育画劇
2021年 ¥2500

アルバは美しいものを集めることが好きな魚です。けれど、次第に美しいものが消え、ペットボトルやビニール袋などのゴミばかりがあふれるように。ゴミの中に閉じ込められたアルバを見つけた女の子は、美しく安全な海を取り戻すため、町の人と何ができるか考えます。環境問題について学べる、読み応えのある絵本です。

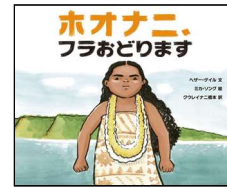
4月



**わたしが いじわる
オオカミになった日**
アメリカ・ジャヴォー/ぶん
アニック・マソン/え
ふしみ みさを/やく
パイインターナショナル
2022年 ¥1600

エマは仲良しだと思っていた友達から急にいじめられるようになり、苦しい日々を過ごします。矛先が別の子へ向いたとき意地悪に参加しましたが、苦しいまま。大人に話を聞いてもらい反省し、いじめを止める側になりました。誰もがいじめの被害者・加害者になりうるなかで、どのように行動するかを考えるために読んでほしい一冊です。

7月



**ホオナニ、
フラおどります**
ヘザー・ゲイル/文
ミカ・ソング/絵
クウレイナニ橋本/訳
さ・えら書房
2021年 ¥1500

自分の性別について「男と女のまんなかにいる」と思っているホオナニ。男子の古典フラのチームが作られることになり、ホオナニはオーディションを受け、メンバーに選ばれます。でも、ねえさんはそれを「はずかしい」と言って…。自分を信じて、つよく、しっかりと自分の居場所をつかみ取るホオナニに、勇気をもらえるお話です。

8月



こおり
前野 紀一/文
斉藤 俊行/絵
福音館書店
2012年 ¥1300

氷には、水だけで固まろうとするがこんな性質があることを知っていますか？身近なコップの中の氷の仕組みから、地球の氷と海流の関係まで。大人も知らないような驚く話ばかりですが、やさしい解説とあたたかい絵で分かりやすく伝えてくれます。氷の性質を確認できる実験も載っているので、ぜひチャレンジしてみてください！

5月



なすびは何色？
山本 泉/作
山田 真奈未/絵
BL出版
2020年 ¥1300

京都から転校してきて、となりの席になった岸田さんのことが苦手な「ぼく」。なぜなら岸田さんは、いつもすました顔をしているし、正義感も強いから。でもある日、「ぼく」がしゃっくりがとまらなくて困っていたら、突然、岸田さんが「なすびは何色？」って話しかけてきて…。二人の距離が縮んでいく様子に何だかほっこりします。

6月



かんじるえ
大谷 陽一郎/さく
福音館書店
2021年 ¥1200

文章はなく、「漢字」だけで描かれた不思議なアートの世界。海辺や牧場、空などの風景、貝がらを見つけた男の子や池の生きものの様子など、夏の情景が漢字で埋め尽くされて一枚の絵になっています。いろいろな漢字が使われているので、じっくりと見てみてください。どんな漢字があるのか、家族みんなで探してみよう。

9月



テントーむし
鈴木 のりたけ/著
寒川 一/監修
白泉社
2024年 ¥1500

はじめてのキャンプはワクワクがいっぱい。テント張り、火おこし、料理など…キャンプの達人に教わりながらスタート！家族と行く海辺のキャンプと、友だち10人で行く森のキャンプを紹介。自然の中で子供たちはのびのびと過ごしています。たき火の仕方、お米の炊き方などが詳しく書かれていて、キャンプガイド本としても楽しめる絵本。

10月



どうしてこわいの？
フラン・ピンタデーラ/文
アナ・センデル/絵
星野 由美/訳
偕成社
2023年 ¥1800

停電で暗い中、子どもが父親にたずねます。「おとうさん、こわいとおもったことある？」。お父さんは「こわい」と感じる時を話していきます。一言に「こわい」と言っても、何を「こわい」と思うかは人それぞれ。あなたが感じる「こわい」はどんな時でしょう。その理由を考えてみると、立ち向かえる一歩になるかもしれません。